

こおりやま広域圏の市民活動を応援する広報誌

あしすとぱあく

第 65 号

2021年9月1日発行

発行：郡山市市民活動サポートセンター
(愛称：アシストパーク郡山)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

特集 - 食品ロス削減と地域循環による協奏 -

10月は、食品ロス削減月間、10月30日は、「食品ロス削減の日」
地域の協力と連携の輪を広げて食品ロス削減！



一般社団法人フードバンク二本松

フードバンクで困窮者への食糧支援活動をはじめました！

Kokoyori (ココヨリ)

子ども食堂・フードパントリーなど多彩な活動をしています♪

郡山食品工業団地協同組合

2022 年は、協同組合設立 50 周年を迎えます！

こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾

公民連携で食品ロス削減に向けた企画を提案しました！

お食事処 松しま

「食べ残しゼロ協力店」認定店（福島県）に登録しています。

写真提供：Kokoyori (ココヨリ) さん



NPO 法人申請準備中の団体を紹介

森のようちえん こめらっこ

今号は、食品ロス削減がテーマです。昨年、2020年に施行されました「食品ロスの削減の推進に関する法律」第9条において、10月は「食品ロス削減月間」、また10月30日は「食品ロス削減の日」です。

食糧需給率の低い日本において、食品ロスを減らすためには、地域のフードシステム（食料の生産 加工 流通 消費 廃棄までの流れ）を生産者、加工業者、流通、販売事業者、消費者など全ての人々が、一丸となって取り組んで行く必要があります。

近年の取り組みとしては、フードバンク、フードドライブ、フードパントリー、食べきりタイム「30・10運動」などが全国的に盛んになってきました。

食品ロス削減に向けてポイントとなるのは、SDGSの17番パートナーシップです。市民活動団体等との連携を深め、協力による地域循環のあるまちづくりを進めましょう。

フードバンク 一般社団法人フードバンク二本松



二本松市

一般社団法人フードバンク二本松 理事長 柳沼 千賀子さん

活動の経緯を教えてください

柳沼さん 私は、2009年、両親の面倒をみるために二本松市に帰郷しました。その後、東日本大震災が発生し、福島県農家を応援するNPO法人を立ち上げ、10年間、毎週首都圏を往復し、農作物の販売支援活動を行いました。

3年ほど前から、フードバンク活動を並行して行っていました。今年、春、NPO法人から、フードバンク事業を取り出して、一般社団法人フードバンク二本松を立ち上げました。

ホームページで食品提供、活動資金の寄附のご案内をしています。



写真提供：一般社団法人フードバンク 二本松

私達のフードバンク活動は、食品ロス削減の課題と福祉課題の解決に繋げるものです。皆様から提供される食品を生活困難な人々、孤立・孤食の高齢者や子どもたちなどの他助ける必要としている人々へ届ける活動です。

活動メンバーを募集しています

私達の団体では、基本的に無償で活動を行います。フードバンクを手伝っていただける活動メンバーを募集しています。食品管理のためのデータ入力作業のお手伝い、都合の良い日程だけでも構いません。その他、会計や広報や印刷物の作成などの得意な方など、手伝ってみたい方はご連絡下さい。

また、行政機関や社会福祉協議会さんとの連携も進んでいます。みんなで協力して、食品を無駄なく、必要としている方々に届けましょう！

公式 Web



協同組合の取り組み 持続可能な経営と地域づくり

郡山食品工業団地協同組合



郡山市

専務理事兼事務局長 白木 貴さん

理事長 佐藤 文吉さん

〒963-8071
郡山市富久山町久保田字郷花 4-12
TEL 024-943-1143 FAX 024-943-2347



公式 Web



佐藤さん 私たち郡山食品工業団地協同組合は、昭和49年5月に設立しました。令和4年には、設立50周年を迎えます。主な取り組みとしては、排水処理、燃料の共同購入、認定保育園の運営を行っています。

白木さん 食品ロス削減については、各企業で発生する生産段階の廃棄物を堆肥や飼料への循環に繋がせています。地域の大学や行政との連携の窓口となり、環境保護やエコの推進にも取り組んでいきたいです。今後は、地域のフードバンクの情報も集めていきたいです。

行政の取り組み 公民連携で食品ロス削減

こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾 2020【しごと分野】



こおりやま広域圏

田村市役所職員 大川原 一博さん

大川原さん 昨年、こおりやま広域圏の行政職員24名が、研究塾に参加しました。6名ずつ4つのチームで、それぞれテーマを



YOUTUBE でアニメーション動画を掲載しました。

設定し、政策提案に取り組まれました。私たちは、公民連携・協奏による地域課題解決の仕組み「自治体クエスト」を提案し、民間の協力を得て食品ロス削減に向けた課題に取り組みました。多世代向けの啓発用「デジタル絵本」・ポスター等を制作しました。

郡山市 Web 案内ページ



食品ロス削減 PR 動画 YOUTUBE



Kokoyori (ココヨリ)

よりそう・つながる・はじまる Kokoyori

子育てコミュニティ活動は、利用者と提供者の

垣根を越えて、笑ってリラックスがテーマです



Kokoyori (ココヨリ) 代表 熊田ひろみさん



写真提供：Kokoyori (ココヨリ)



写真提供：Kokoyori (ココヨリ)



写真提供：Kokoyori (ココヨリ)

Kokoyori
公式 FB

活動の経緯を教えてください？

熊田さん きっかけは、私の実家で商売を営んでおり、店の空きスペースに長テーブルを二つ並べて、子どもたちが勉強したり、居場所として開放していました。そうした時間を過ごすうちに、居場所が必要な子ども達などの様々な事情を抱えた姿に気が付きました。

2016年、友人と一緒に、子どもたちが気軽に集まれる居場所づくりの活動「すかがわ子ども食堂わらわら」と名付けて子ども食堂を始めました。わらわらの語源は、笑ってリラックスできる場所という意味です。

活動を始めるにあたり、SNSで一緒に活動していただける仲間を募り、8名が集まりました。その後、Kokoyori(ココヨリ)ハウスが借りられるようになり、多くは有りませんが、活動へ応援の寄附が、安定的にいただけるようになってきたところです。私達の活動は、誰でも参加できるコミュニティ活動です。

従来、子ども食堂は、困窮

者支援活動のイメージが付いていた部分もありますが、私たちは、こども食堂の活動も含めて、困窮者支援の活動でなくコミュニティ活動として考えています。

活動名称を「みんなでわらわら」に変更し、親子での参加者も増え、活動も広がってきました。

地域とつながるといっても、食品ロス削減の一翼を担うために、地域の企業さんより寄附いただいた食品や学用品・洋服などをお配りするフードパントリー&おゆずり会の活動も継続して取り組んでいます。

参加者が増えるとともに、最初は、利用者と運営者だった関係も大きく変わり始め、現在は、LINE@で繋がる約200名のコミュニティとなっています。今後も、私達を応援いただく方々と一緒に活動を進めます。

食品ロスの削減に取り組むには
一人一人が出来ることからチャレンジしましょう♪

① フードバンク

家庭や事業者から食品の寄附を受けて管理し、福祉施設や生活困窮者へ食品を提供する活動。

② フードドライブ

主に家庭で余っている食べ物を持ち寄り集めて、地域の福祉団体や、フードバンク等へ寄付するための「受付」活動。
※ 町内会やイベントなどで気軽に行え、近年少しずつ増えてきました。

③ フードパントリー

余った食品を必要な人に、「食品を無料で提供する」活動。
※ コロナ禍の影響で、子ども食堂の活動に取り組む団体が実施しています。

④ 食べきりタイム「30・10運動」

会食や宴会の時の、『最初の30分間と最後の10分間は料理を楽しみ食べ残しを減らしましょう』という運動です。

⑤ その他 フードシェアリング

飲食店の食品廃棄の削減を目的としたシェアリングアプリのメンバーとなり、お弁当などを購入する。
※ 他にも沢山の取り組みがあります♪

店舗の取り組み

「食べ残しゼロ協力店」認定店

お食事処 松しま



お食事処 松しま 石崎 浩さん

〒963-8024
郡山市朝日 1-28-10
TEL/FAX 024-922-3540

福島県「食べ残しゼロ協力店」事業所 大募集!



食品ロス削減の取組をPR出来ます♪

福島県募集 Web



石崎さん 食品ロス削減の取り組みについては、食べ残しゼロの啓発ポスターの掲示や調理する食材の仕入れ又は使い切りの工夫に取り組んでいます。その他に来店いただくお客様の希望する量を受け付け、ハーフサイズなど

の小盛りメニューやドギーバッグなどでの持ち帰り希望への対応をしています。以上ような食品ロス削減の取り組みをしていることを福島県が認定する「食べ残しゼロ協力店・事業所」認定店制度の登録店舗です。

NPO紹介コーナー —NPO法人申請準備中—



猪苗代町 森のようちえん こめらっこ

森のようちえんこめらっこ代表 土屋美香さん

土屋さん 私は、東京から猪苗代の農家に嫁いで来ました。猪苗代町の豊かな自然環境の魅力に惹かれ、自然を生かしたあそび場や学び場を作つて子育てにつなげたいと考えていました。同じ思いの仲間が出来まして、4年前に「自主保育サークル」の活動を始めました。

団体名の「こめらっこ」とは、会津の方言で「子どもたち」のことを意味します。



2021年度市民協働まちづくり塾（実践コース）
第2回「年賀寄附金助成制度の説明会」

開催日：2021年9月14日（火）18:00-19:30
開催方法：Zoom 参加費：無料

郡山市民活動サポートセンター



市民活動団体向け Zoom 活用ミニ講座

市民活動団体のデジタル化推進を目的として、郡山市民活動サポートセンターにて、Zoomの使い方をご案内しています。（完全予約・団体のみ）

郡山市民活動サポートセンター



※市民活動に取り組む皆様の活動情報をお知らせください

お詫びと訂正

広報誌「あしすとばあく」第64号（7月1日発行）3ページ掲載のNPO法人夢くりえいとTKBすかがわ副理事長様のお名前に間違いがありました。正しくは、**本間昌秀**さんとなります。お詫びして訂正させていただきます。



市民活動もデジタル化時代
～DXにトライする！！～

市民活動のDX(デジタルトランスフォーメーション)は、会計ソフトの導入からですね。

日々の入力も楽々、法令の改正にも対応。金融機関の明細を自動で取込んで一元管理もできます。
※ソフトの基本操作、クラウドへの自動データバックアップ機能の利用をサポートします！

地域課題の専門相談会

専門相談会

無料

相談無料

- 多文化共生社会の実現
- クラウドファンディング活用
- SDGsの推進



相談テーマ 多文化共生社会の実現

専門相談員
三田 真理子 9/21 (火)

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



相談テーマ SDGsの推進

専門相談員
加藤 志津佳 9/29 (水)

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



相談テーマ クラウドファンディング活用

専門相談員
中潟 亮兵 9/30 (木)

①13:30-14:15 ②14:30-15:15 ③15:30-16:15



NPO法人を設立しませんか！

設立相談について、随時 受付中！

- ◆ NPO法人は、事業の内容を20の分野から選ぶことができます。
- ◆ でも、ご心配なく。皆さんが取り組みたい事業や活動は、この20分野のどこかに該当します。

こんなお手伝いをしています

- ① 事業分野の一つずつを説明します。
 - ② 事業計画作成のコツを伝授
 - ③ NPO法人制度や設立方法の説明
- ※出前講座も実施しています

発行 郡山市民活動サポートセンター

開館時間 8:30-17:15 休館日 土、日、祝日、年末年始

電話/FAX 024-924-3352

メールアドレス ap@utsukushima-npo.jp

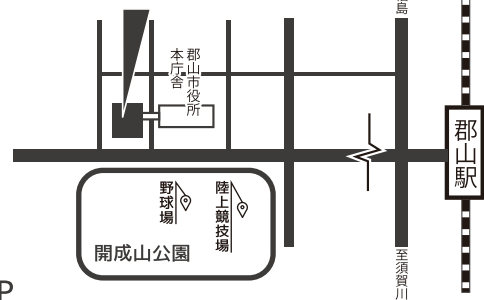
ウェブサイト https://assistparkkoriyama.net/

住所 〒963-8601
福島県郡山市朝日一丁目 23 番 7 号
郡山市役所 西庁舎 3 階

運営委託 郡山市民部市民・NPO 活動推進課

運営受託 NPO 法人うつくしまNPOネットワーク

郡山市役所 西庁舎 3 階



MAP

Web

Twitter

Facebook

